

平成28年度 第1回 飛騨神岡高等学校  
地域と共に活力ある学校づくり推進協議会 議事要旨

日 時	平成28年 5月26日(木) 10:00~12:00
場 所	飛騨神岡高校 ゼミナール室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>上野 峻 飛騨市企画部企画課 大前 孝 飛騨神岡高等学校育友会 会長 菊田 昇司 北陸電力株式会社神岡営業所 所長 小林 時造 飛騨市立神岡小学校 校長 田口 由加子 NPO法人神岡・町づくりネットワークレールマウンテンバイク事務局 都竹 淳也 飛騨市長 中口 清浩 飛騨市立山之村小中学校 教頭(代理) 中林 裕 飛騨市神岡振興事務所 所長 布俣 正也 岐阜県議会議員 野村 俊巳 飛騨市立神岡中学校 教頭(代理) 堀之上 亮一 飛騨市企画部企画課 水上 雅廣 飛騨市企画部 部長 山口 郁夫 山口鉄工所(GSA実行委員会委員長) 山本 幸一 飛騨市教育委員会 教育長 渡邊 登紀夫 飛騨市教育委員会 学校教育課長 和仁 邦雄 神岡商工会議所 専務理事</p> <p>(高校側等)</p> <p>石田 達也 校長 河渡 正史 教頭 野村 宏治 事務長 宮垣 雅巳 教務主任 中田 和美 進路指導主事 楯 幸司 事業担当 中村 英樹 事業担当</p>
議事概要	<p>1 高校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習熟度別の少人数指導や学力支援講座等を実施し、就職から国公立大学進学まで、生徒一人一人の多様な進路希望や学力に応じたきめ細かな対応を徹底している。</li> <li>・ 1年生での指導の徹底により、系列のミスマッチを訴える生徒がほとんどないことが、進路実現の素晴らしい成果に大きく影響しているのではないかと。</li> <li>・ 小中学校では人前に出ることが得意でなかった子供たちが、非常に生き生きと、時にはジョークを交えながら小学生にロボットの紹介をしていた。高校で大きく成長したと感じ、少人数による手厚い指導の効果を実感している。</li> </ul>

- ・ 飛騨神岡高校を見学して、生徒の生き生きとした様子、施設の充実などを目の当たりにし、地域にとって必要不可欠な学校であり、死守しなければならないと実感した。
- ・ 例年に比べて今年度入試では、飛騨神岡高校の入学者が増えた。その要因として、連携型中高一貫教育の成果等、高校の理解が進んでいること、飛騨市の施策によるバス代の値下げによる効果等が考えられる。

## 2 協議会を通じた高校の活性化について

- ・ この協議会ではゆっくりと夢を語るのではなく、どうやって実績を出すのかが問われていると考える。既成概念等にとらわれず、思い切った取組に挑戦したい。
- ・ 協議会と並行してテーマ別にワーキンググループを編成し、できることから速やかに実施したい。また、地域住民との意見交換会等も積極的に実施したい。
- ・ 中学生への新たなアピールとして、東京大学宇宙線研究所と連携し、研究員による講演、ロボット部との連携、4年制大学進学希望の生徒を対象とした学習支援等を検討している。
- ・ 現在、2年生で二日間実施しているインターンシップを、さらに長期間の企業内実習へ発展させていくことを検討したい。地元の経済界としてもできるかぎりの提案をしていきたい。
- ・ 生徒自らが企画するようなことも大切にしたいし、大人が生徒の活動のきっかけ作りをするようなことも大切であると思う。
- ・ 学校は地域の歴史文化を子どもたちに伝える貴重な場所である。今年度中に県が設けている高校の再編統合基準については、地域の特性を無視した過度な数値目標としないよう要望したい。

## 3 学校間及び地域との連携について

- ・ 高校生と地域の方が積極的な交流をすることによって互いの理解が深まり、地域の方に学校のよさがきちんと伝わることになる。企業や福祉関連施設との連携も考えたい。
- ・ 中高連携を通して、中学2年生で高校の普通教科に加え、工業や商業の授業体験ができることは、中学生にとって非常に大きなメリットである。同じ高原郷として、上宝地区の北稜中学校も中高連携に巻き込めるとよいのではないか。飛騨市と高山市の境を越えた交流を求めていく必要もあるのではないか。
- ・ 飛騨神岡高校の施設は大変充実しており、飛騨市民にも活用の機会が与えられるとよいのではないか。可能か不可能かは別として、例えばグラウンドを天然芝にするなどしてプロサッカーチームに開放するなど、いろいろな可能性を模索する必要があるのではないか。

## 4 積極的な情報発信について

- ・ 積極的で効果的な高校の情報発信が、今年度の最重要課題ではないだろうか。
- ・ キャリア教育の取組、総合学科の仕組みや長所、少人数指導による進路実績等を中心に、中学生やその保護者にしっかり情報発信していきたい。
- ・ 文化祭（白樺祭）を土曜日や日曜日に開催すれば、地域住民が多数来校し、飛騨神岡高校の素晴らしさを理解してもらえるのではないか。